

大宮駅東口周辺ウォーカブル通信 Vol.1

@氷川緑道西通線(北区间) 令和7年6月発行

氷川緑道西通線(北区间)の将来を皆さんと考えていきます！

さいたま市は、令和元年度にウォーカブル推進都市となつて以降、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指して様々な取組を実施しています。

この度、氷川緑道西通線(北区间)の将来の使い方を考えていくキックオフとなる意見交換会を開催しました。

今、近くで動いている取組や、街路の持つ可能性についてのレクチャーの後、沿道と周辺から参加した14名の方々と、将来の氷川緑道西通線(北区间)でどんなことをしたい(してもらいたい)か、意見を出し合いました。

引き続き、氷川緑道西通線(北区间)の歩行者空間の在り方について検討していきます。

■氷川緑道西通線(北区间)



キックオフの詳細は中面をご覧ください

氷川緑道西通線事業について

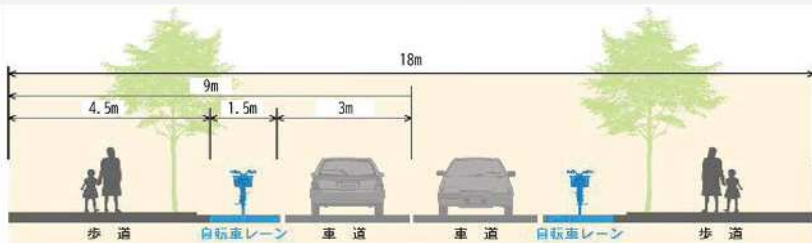
氷川緑道西通線は、大宮駅東口の都市の骨格となる道路として位置づけられた重要な都市計画道路です。

氷川緑道西通線の整備により、大宮駅東口周辺の渋滞緩和、歩行者・自転車の安全で快適な空間の確保、電線類地中化による都市防災機能の強化や良好な都市景観の創出などの効果が見込まれており、大宮の新たなシンボルロードとして期待されています。

整備概要

【延長】1,015m
【幅員】18.0m
【整備内容】歩車道整備、電線類地中化、上下水道、ガス等

■氷川緑道西通線(北区间)の標準断面



■氷川緑道西通線(北区间)の整備イメージ



キックオフ(意見交換会)の主な内容

第1部 レクチャー

将来の西通線(北区间)を考える上で参考となる内容や課題などについて、藤村龍至氏、木村和貴氏、逸見駿介氏の3名からレクチャーしていただきました。

「街路の可能性」

藤村 龍至氏(アーバンデザインセンター大宮副センター長)



大宮をはじめ、これまで携わってきた数多くのプロジェクトの紹介も交えて、3つのテーマを説明していただきました。

1. 滞在空間としての街路

滞在できる街路とは
街路沿道を一体で設計する・経営する

2. ストリートでエリアの価値を上げる

敷地に価値なしエリアに価値あり
エリアの価値をつくるのがストリート

3. 設計する前に試す

設計してから変えられることは限られている
設計する前に想定する

↓滞在できるようにした街路の例:大宮門街(当日資料を加工)



街路整備

街路整備+滞在空間

滞在空間+イベント活用

「大宮門街プロジェクトの現在」

木村 和貴氏(株式会社中央デパート社長)

主に大宮門街(大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業)の経緯や来館者数の推移について説明していただきました。また、大宮門街プロジェクトの経験から、建物全体の牽引役(リーダー)の不在による「合意形成の遅れ・未解決課題の山積」や「賑わい創出・地域貢献的視点の欠如」など構造的な課題を示していただきました。



←昭和42年4月の大宮駅東口駅前中央通りの様子(当日資料より)



←大宮デパートの開業時(左)と閉館時(右)の様子(当日資料より)



現在の大宮門街→(当日資料より)

「まちの声をひろう」

逸見 駿介氏(大宮製油合名会社)

氷川緑道西通線沿いにて長年事業を営むなかで、「まちの声」として実感されている

「氷川緑道西通線の現在の8つの課題」とともに、エリアの将来像のヒントを得るために実施したワークショップの概要をご説明いただきました。



←ワークショップのプログラム(当日資料より)

①緑が少なくありませんか？

②冬季に北風が強くないですか？

③休憩場所が少なくないですか？

④乱横断がおりそうじゃないですか？

⑤道が暗くて不安になりませんか？

⑥ゲリラ豪雨の際に冠水が気になりませんか？

⑦道路が広がると路上駐車がしやすくなるのでは？

⑧街路樹に木陰がほげないと、暑くて歩けなくならないか？

氷川緑道西通線の現在の8つの課題

概要 【日時】令和7年3月3日(月)9:30~12:00 【会場】まちラボおおみや 【参加者数】14名

第2部 ワークショップ(意見交換)

第1部のレクチャーを踏まえ、3班に分かれて、「将来の西通線(北区间)でどんなことをしたい(してもらいたい)か考えてみよう」というテーマで意見交換を行い、各班で話し合った内容を発表して共有しました。当日でた主なご意見について、テーマに分けて紹介します。



安全性

- 子どもが安心できる道にしたい。
- 夜間暗いので街路灯を増やしてほしい。
- 自転車レーンができて歩道を自転車が行き、歩行者と自転車が錯綜しないか心配です。



交流

- 周辺にはマンションも多く立地してきているので、子育て世代が交流できるポケットパークのような滞留空間が氷川緑道西通線の歩道、または沿道にあると良い。
- 子育て世代と高齢者が交流できる場になると良い。
- 道路にお店の看板を設置すると、お店の雰囲気が道路にも広がり、賑わいに繋がるのではないか。
- 旧中山道を境に賑わいの種類が変わり、西通線側は落ち着いた雰囲気の賑わいだと感じる。
- 普段はベンチだが、防災に使えるヘルメットやコンセントを入れておくものを置きたい。



みどり

- 西通線は近辺も含めみどりが少ない。
- 夏は暑く、冬は風が強いので、快適でない。みどりを配置することで、快適性の向上を図れないか。
- 現況の氷川緑道西通線は、木陰や高齢者が休めるようなベンチがない。みどりが充実した道路となしてほしい。
- イベント時だけでなく、常にあるみどりがあれば木陰になり、ベンチとセットにしたい。
- 氷川緑道(表参道)のように、みどりを増やし、当通りを「裏参道」と捉えてみる。
- 地区周辺には見沼や盆栽村など緑の資源が豊富なので、緑の実験場のような通りになると良い。



美観

- ゴミが捨てられない、綺麗な通りになってほしい。氷川参道はゴミが捨てられていないので、ゴミを捨てにくい雰囲気を作ることが大切だ。
- コンポストを設置し、ゴミの再利用に寄与した通りにすると面白い。

その他

- 人通りの多い一の宮通りや大宮中央通線など周辺の通りとの関係性も考えていくと良い。
- 一の宮通りとの交差点が商業と住宅の汽水域である。
- 裏路地にも行ってみたいと思わせるきっかけや、情報発信の方法を考える必要がある。

将来像検討のためのアンケートを行いました！

意見交換会の参加者に、当日のプログラムを経た上でのレクチャーの感想と氷川緑道西通線(北区間)でどのような活動をしたいか、どのような空間にしたいかを尋ねるアンケートを実施しました。

アンケートの概要

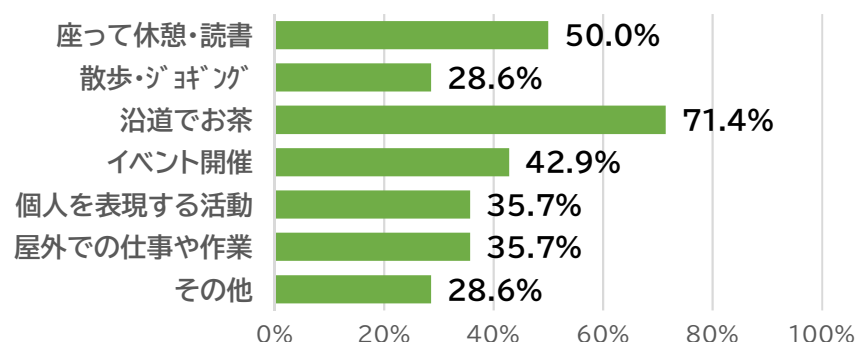
【回収率】14件／14名(100.0%)

【住まい】沿道:4名、沿道以外:10名

Q1.レクチャーについてご感想を教えてください(記述回答) ※一部意見を掲載

- 道は古来、コミュニティの中心で経済の中心である。道を中心に街をつくっていくという発想に共感しました。
- 子供、若者、にぎわいのために緑と休憩、居心地の良い空間として水場を導入してはどうか。
- 道路を設計する前に試すことで楽しさやコミュニティが育っていくのが理想だと思います。
- このような会に出席したのは初めてだったので、とても勉強になりました。

Q2.氷川緑道西通線(北区間)でどんな活動をしたいですか(複数選択可)

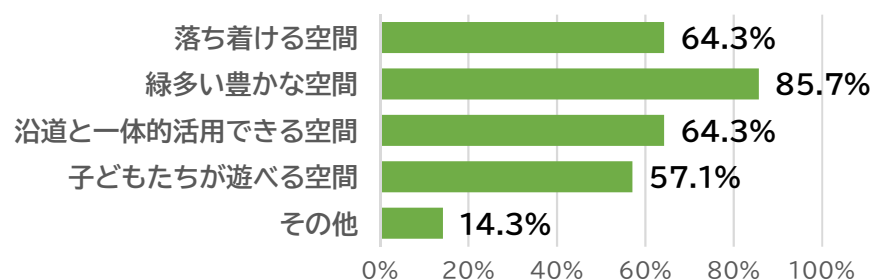


← 沿道でお茶のイメージ



← 座って休憩・読書のイメージ

Q3.氷川緑道西通線(北区間)をどんな空間にしたいですか(複数選択可)



← 緑多い豊かな空間のイメージ



← 沿道と一体的活用できる空間のイメージ

Q4.自由意見(記述回答) ※一部意見を掲載

- 道が広くなることで良い事、悪い事が出来るので、悪いことをよい方向になる仕組みが必要とされるので、今後、安全安心に過ごせる様にしていきたい。
- 緑の空間(居住者、そうでない方含め)が増えるとよいと思います。

ウォーカブルなまちなか創出に向けて引き続き検討していきます！

今回のキックオフ(意見交換会)やアンケートでのご意見を踏まえ、氷川緑道西通線(北区間)の歩行者空間の在り方を検討します。また、令和7年度も引き続き意見交換会の実施等を通して沿道権利者や地域の方からご意見を集め、検討の深度化を図っていきます。

問合せ・発行

さいたま市 都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所
TEL:048-646-3289 FAX:048-646-3292

 大宮ウォーカブルシティ
OMIYA WALKABLE CITY